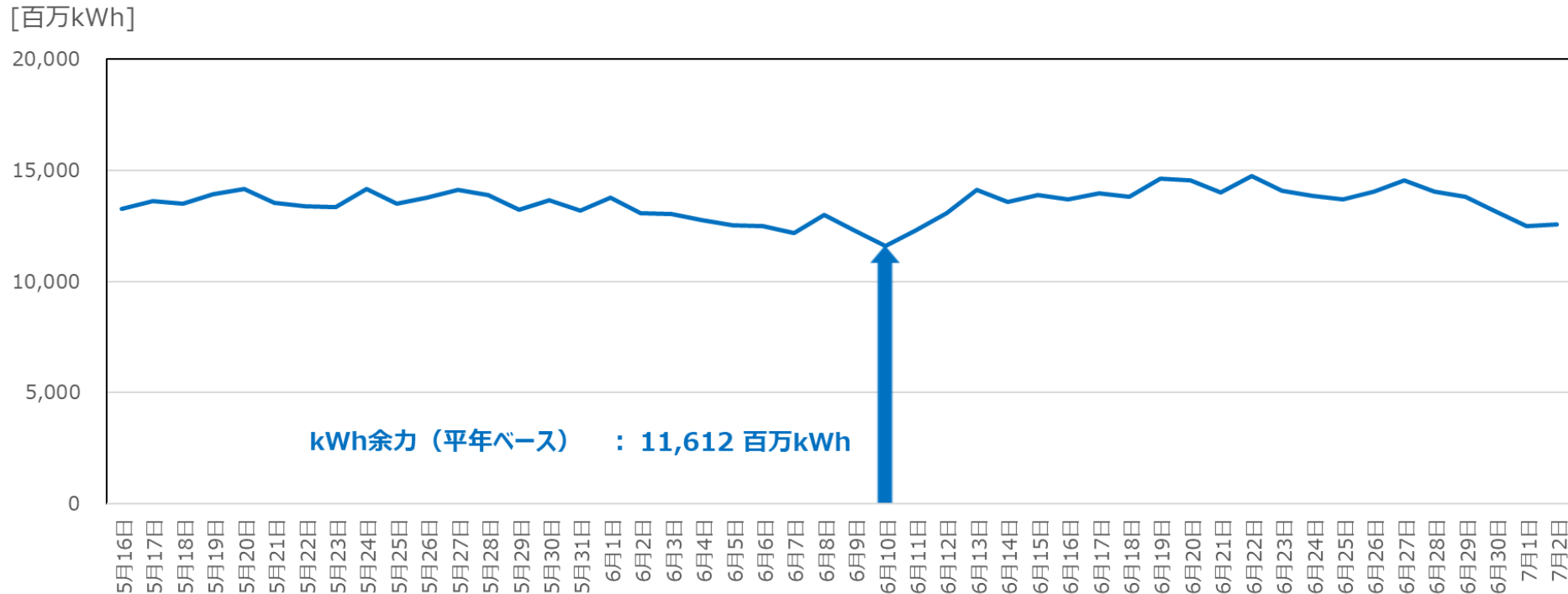


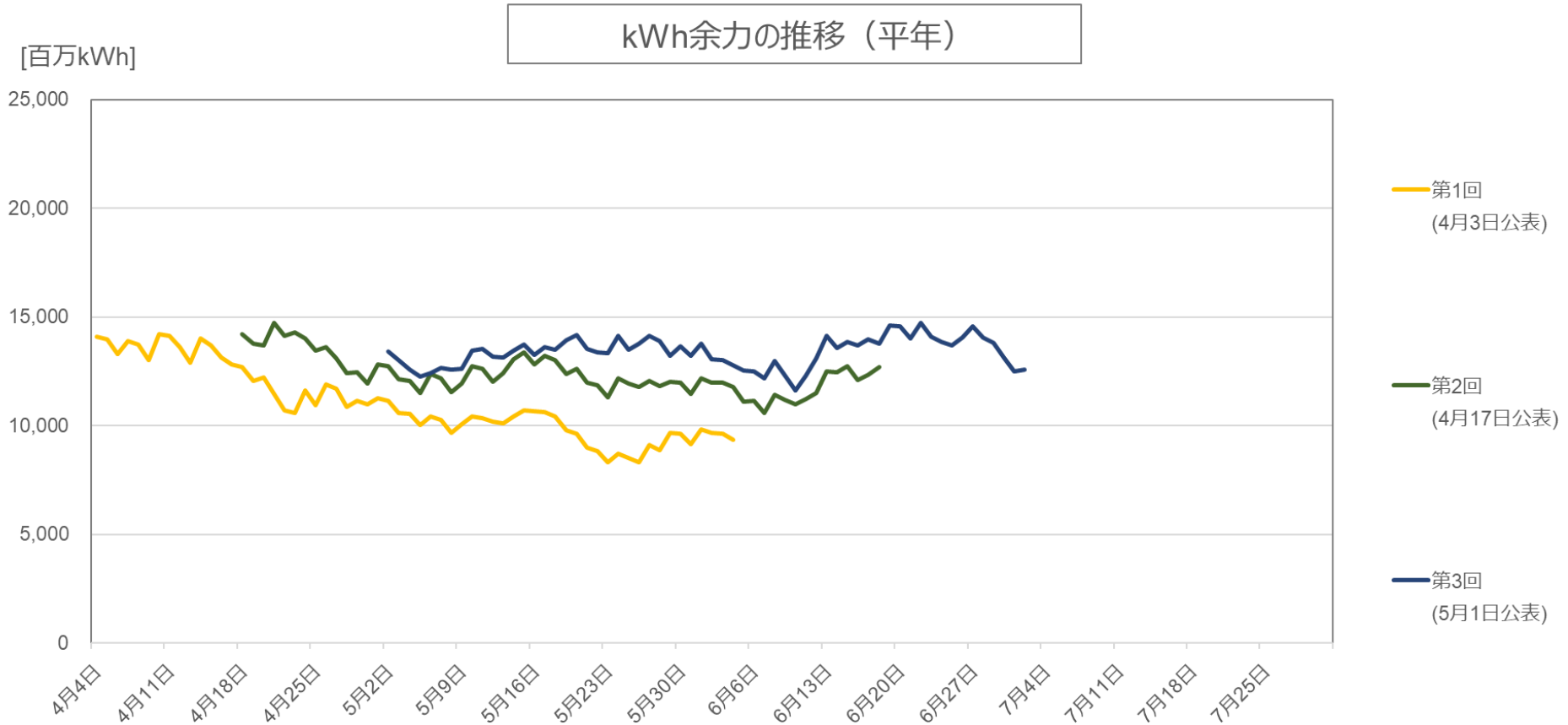
# kWhモニタリング（対象期間:5/16～7/2）の結果

- 今後、平年並で需要が推移した場合、kWh余力は6月上旬に最小となる見込み。その値は**11,612百万kWh**であり、対象期間の平均日電力量の約6倍に相当。
- 現時点で燃料在庫の観点からはひっ迫の恐れはないことを確認。
- ただし、需要の増加や、原子力・石炭火力発電等のベースロード電源の計画外停止によって状況が変化する可能性があり、今後も動向を注視していく。



# kWhモニタリングの結果（これまでの結果との比較）

- kWh余力は、概ね前回（第2回）と同じ傾向で推移。



注：上記kWh余力の推移のうち、始めの2週間は気象予報を基にした需要を用いて算定したものであり、  
 厳気象を想定した推移ではない